
フェイク

宿り木ノタネ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
フェイク

【Nコード】
N8038B

【作者名】
宿り木ノタネ

【あらすじ】
ウソップとロビンの対話です。意外な組み合わせです。ほのぼのしますよ。

（前書き）

原作者の許可などってません！
自分の自己満足ですよ。

苦手な方は読まない方が。

「・・・・・・・・。」

「いってらっしゃい」

「じゃあ二人とも船番よろしくね」

「ちゃんと安静にしてなきゃダメだぞ。ウソップ」

ウソップと呼ばれた鼻の長い若者はこの状況に困っていた

「あら、長鼻さん。傷が痛むの？」

隣でクルー達を笑顔で見送る女性がこちらの顔色をうかがう。

「別になんでもねえ。し、島を見物できなくて残念なだけだ！」

足を骨折したため、今日は船番となったウソップ。

だがその状態では船を守りきれぬ訳はなく、誰かが一緒にいなければいけない。

この場合、残りたい者がいれば簡単に決まるのだが。

「私、船にいるわ」

1番に声を出したのはロビンだった。

1週間前に滞在していた島に興味深い遺跡があったが、損傷がひどく、文字の解読が困難だった。

そのため遺跡の文字をデータに取り、解読を船で行うが、作業に少しばかり難行中。

その作業を今日もやりたいらしい。

そして、ペアは簡単に決定した。

「お前、この島にも何かあるかもしれねえだろ」

「この場所は前にも来たわ。普通の島ね。興味が無いわ」

そう答えられ、ウソップは思った。この女は興味がないものにはまるで接触をしない。

それは自分にもあてはまるのではないか。

今まで他のクルーよりも自分はロビンと接した時間が少ない。

「・・・はあ」

ため息がでた。苦手なのだ。俺は。こういうシリアスな奴は。

ギャグをかましても、微笑みはするが大半は不思議な目をされる。

あちらから喋りかける時は用事を頼まれるかくらい。

たまに彼女の常識外（このクルーは大体そうだが）の言動にツツコミをいれる事もあるが

得意な事は暗殺。

いつも本を読み、馬鹿騒ぎはしない。

ゾロの様にたまに殺気がほとばしる時もあれば、まるで消えたかのように存在感が無くなる。

付き合い憎い。

彼が抱く彼女への思い。

だが

今はそれでも仲間なのだ。

(後書き)

仲間だからね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8038b/>

フェイク

2010年10月28日04時48分発行